

# なかよし

てんどうちゅうぶしょうがっこう  
天童中部小学校

がっしやう  
いちよう学報

R3.8.27

No. 17

## 2学期、はじまり、はじまり～！

学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。学校という名の巨大な生き物が、息を吹き返したように感じます。

始業式の日の子どもたちの姿をいくつか紹介します。



「ひさしぶり！」と教室に入ってきたAさん（いままで、このように入ってきたことはなかったのですが...）そして、「先生、見て！」「みんな見て！」とタブレットを広げて休み中に取り組んだ学習を披露してくれました。「学校に来たかったんだ！家にもあきたし、やったことをみんなに見せたかったしね。」と。帰り際、「明日は6校時か...。来たくないなあ。」と。またいつもの学校生活が始まります。

教室に入ってしばらくしてから、「なんか、みんな成長した気がする！」とBさん。その後、友だちの様子を見ては、「〇〇さん座って。」「〇〇さんタブレット早くやめよう。」と声かけの数々。みんなで成長したいという期待が伝わってきました。

久しぶりに会った友だちと、朝から話が弾んでいたCさん。中間休みに体育館が使えることに気づくと、友達を誘って体育館へ。汗をいっぱいかいて戻ってきました。友だちとのびのびと学校生活を送ることの大切さを改めて感じた一場面です。

いつもは、友達のお話を聞いてからで、自分のことを話し始めるDさんですが、この日は違っていました。タブレットを開きながら、自分から「いも煮のこんにやくをちぎったんだよ。」「花火はねえ...。」「ママはねえ。」とお話は止まりません。充実した夏休みだったことが伝わってきました。

料理の課題で、「タイ風春雨」の作り方を動画で紹介してくれたEさん。一緒に見ていたFさんから「私も作ってみたいから、その動画送ってくれない。」「いいよ、じゃあ、Dさんのも送ってくれる。」「いいよ。」とお互いの学習を認め合い、自分の学習をさらに高めようとしている二人でした。

お父さんの誕生日のこと、学童で将棋をしたことなど夏休み一日も欠かさず日記を書いたGさん。友だちに質問されて、「それはね...。」「だってね...。」と生き生きと友達との会話を充実させていました。

昨年に引き続き、コロナ禍で様々な制約がある中での夏休みでしたが、子どもたちは、「今できること」を最大限考えて、一生に一度の「2021年の自分の夏休み」をのびのびと創ることができたようです。課題にもとても丁寧に取り組んでいました。お互いに伝えあって子どもたち一人一人の学びをさらに深めていきたいと考えています。大きな事故や病気もなく安全に過ごすことができました。それもこれも、保護者の皆様のご支援、ご協力あってのことと心より感謝いたします。ありがとうございました。

「小さな努力を積み重ねた人に勝るものはありません。自分はどんな人になりたいかを考え、それにはどんな力を伸ばさなければならぬかをきめて、めあてにしましょう。」始業式での校長先生のお話です。2学期は夏、秋、冬の3つの季節を通過する83日間の長丁場です。83日分の力をつけた2学期終業式の日の子どもたちの姿に向けて、日々を丁寧に積み重ねていきたいと考えます。今後とも、ご支援ご協力よろしく願いいたします。